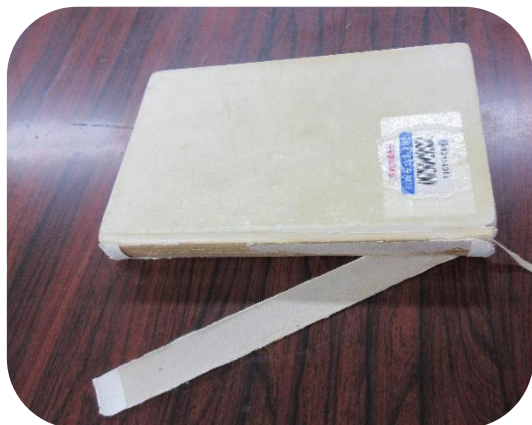


背が外れた本の補修（背の損傷が著しい）



のどが緩んでいないか確認する
(寒冷紗が見える場合は緩んでいる)

のどに「のりボンド」をつける



溝に編み棒（のりがつかないようにコーティングしたもの）をあて、クリップで挟む。
乾くまで待つ。
反対側も緩んでいた場合同様にする。





背についているクラフト紙・
のり等をできるだけ取る



取った状態



クーターを作る

クーターを貼る



- 糊は「うすボンド」を使う
- クーターの一重の方と本の背両方にうすボンドを塗る
- へら等を使いしっかり接着させる

表紙の天地の長さ
※本文ではないので注意！

中性紙で背芯を作る
天地の中央に目印を
入れる



背の幅
(クーターと同じ幅)

クーターの上に背芯を目印が
付いた方に糊をつけてつける

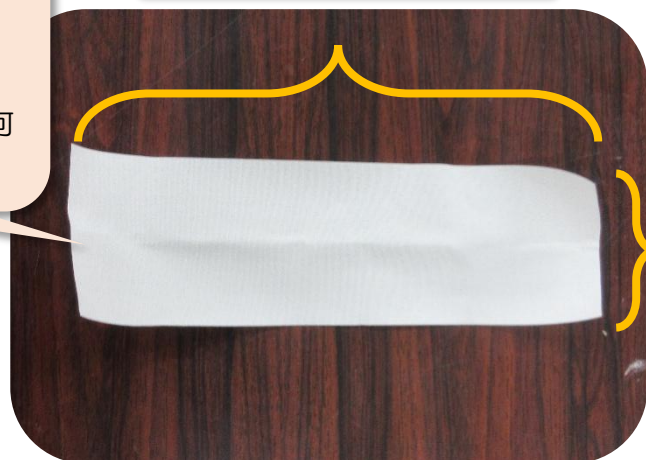


- 糊は「うすボンド」を使う
- 背芯と本の背両方にうすボンドを塗る
- 背芯の方がクーターより長いのでクーター
がつぶれないよう、天地のぎりぎりまでは糊
をつけない
- へら等を使いしっかり接着させる



表紙の天地の長さ+4cm
※本文ではないので注意！

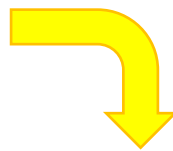
クロスを準備する
※裏がシールになったもの、
なってないものどちらでも可



背の幅+6cm



背にクロスを貼る



クロスを半分に折り半分だけ剥離紙をはがして半分接着する



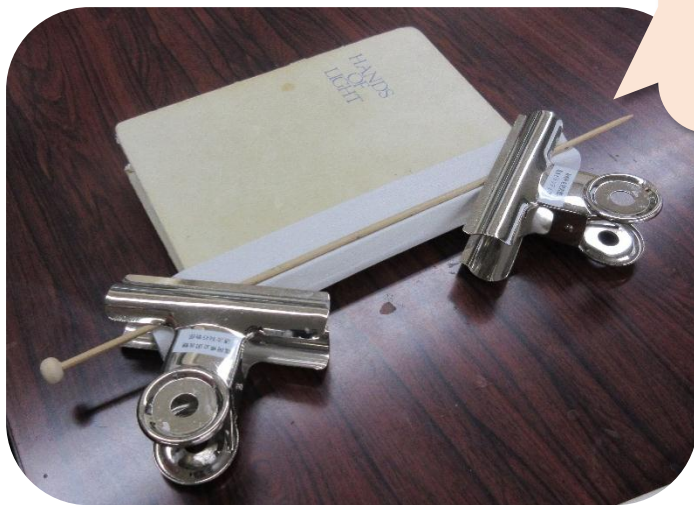
背芯の中央に印をつけておくともクロスの中央と合わせやすい
天地両方しておくとも真っ直ぐ貼れる



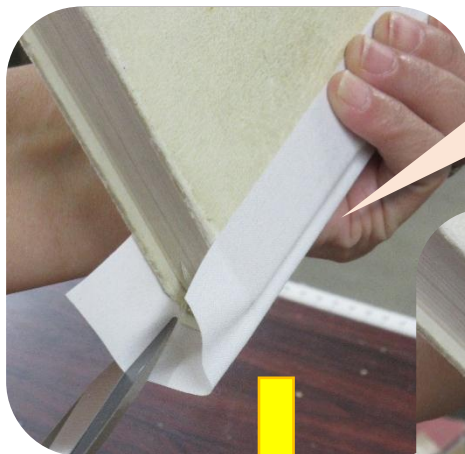
溝に「のりボンド」をつける
使うクロスがシール式の場合は、
テープの粘着だけでは弱い為
必ずのりボンドで接着する



○ へら等を使いしっかり溝に接着させる



溝に編み棒をあて、クリップで挟む。
乾くまで待つ。
反対側も同様にする。



天地のクロスに切り込みを入れる



表紙を開いて内側に折り込む
天地四カ所全て同様にする



背の部分のクロスはクーターの中に入れ込むので、入れやすいように台形にカットする
長すぎる場合は少し短くする



ピンセット等でクーターの中に押し込む



天地とも終わったら、両方の溝に編み棒をあてクリップで挟み、乾燥させる



半日以上は置いておいた方が良い。
クリップはあまり深く挟むと、資料を傷める恐れがある
本が厚くてクリップで挟めない場合は、重しをのせる



外れた背表紙をできるだけ薄くする

傷んだ部分をカットして綺麗にする
幅は、本の背より少し細くする



背に「布用ボンド」で貼る



背が無くなっている場合は、テプラ等でタイトルを作って貼る



できあがり